

情報通信審議会 情報通信技術分科会
放送システム委員会（第 82 回） 議事概要（案）

1 日時

令和 6 年 11 月 1 日（金） 15:30～16:00

2 場所

WEB 会議での開催

3 議題

- (1) 前回議事概要の確認について
- (2) 「放送システムに関する技術的条件」のうち「マイクロ波帯を使用する放送事業用無線局（STL/TTL/TSL）の高度化のための技術的条件」の検討開始について
- (3) その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】伊丹主査（東京理科大学）、甲藤主査代理（早稲田大学）、
雨宮専門委員（日本 CATV 技術協会）、井家上専門委員（明治大学）、
岩崎専門委員（東京農工大学）、上園専門委員（日本ケーブルラボ）、
大槻専門委員（慶應義塾大学）、児玉専門委員（電波産業会）、
後藤専門委員（NICT）、関根専門委員（明治大学）、
丹専門委員（北陸先端科学技術大学院大学）、山田専門委員（関西学院大学）
【事務局】総務省情報流通行政局放送技術課（村上課長、藤原課長補佐、近藤課長補佐）

5 配付資料

資料 82-1 放送システム委員会（第 81 回）議事概要（案）

資料 82-2 「放送システムに関する技術的条件」のうち「マイクロ波帯を使用する放送事業用無線局（STL/TTL/TSL）の高度化のための技術的条件」の検討開始について

参考資料 82-1 情報通信技術分科会 放送システム委員会 構成員一覧

6 議事概要

議事次第に沿って検討が行われた。議事概要は以下のとおり。

- (1) 前回議事概要の確認について
前回議事概要（案）（資料 82-1）が承認された。
- (2) 「放送システムに関する技術的条件」のうち「マイクロ波帯を使用する放送事業用無線局（STL/TTL/TSL）の高度化のための技術的条件」の検討開始について

事務局より、資料 82-2 に基づき情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会「放送システムに関する技術的条件」のうち「マイクロ波帯を使用する放送事業用無線局（STL/TTL/TSL）の高度化のための技術的条件」の検討開始について説明が行われ、案のとおり「STL/TTL/TSL 高度化作業班」を設置することとされた。

また、伊丹主査より、作業班の主任には大槻専門委員が指名され、構成員についても、事務局説明のとおり指名された。

主な質疑は、以下のとおり。

（雨宮構成員）資料に P1 に、STL/TTL の役割として、番組伝送以外に番組素材伝送との記載があったが正しいか。正しいとすると、検討の条件の中で素材伝送がどのくらい必要なのかどうか検討するべきではないか。

（事務局）STL については、スタジオから送信所への伝送になるので放送番組そのものであり、TTL はそれを中継するものなので、STL と基本的に構造は同じである。TSL については、FPU の移動局から鉄塔等で受信したものをスタジオに中継すること等に使用されており番組素材が伝送されるものである。従って、番組素材が伝送されるのは TSL である。

（雨宮委員）移動局である FPU は今回の検討の対象外というご説明があったが、その場合、上り回線に必要な伝送容量は、現行の FPU のものを準用するという考え方になるか。

（事務局）然り。素材伝送用の FPU については衛星放送 4K8K の導入の際に高度化をしており、その FPU の番組素材を伝送可能にすることが TSL の条件の一つである。

（児玉構成員）要求条件について、TSL については、「与干渉、被干渉に対して、現行 TSL と同等以上の耐性を確保できること」との記載があるところ、STL/TTL については「他のサービスに干渉妨害を与えず、かつ他のサービスからの干渉妨害を受けにくい方式である」と微妙に表現が違うが、基本的には TSL と同様に現行の STL/TTL と同等以上の耐性を確保するという条件で良いか。

（事務局）然り。ご認識の通り、STL/TTL についても現行システムと同等以上の耐性を確保できる前提で、ご議論を進めていただく予定である。

（児玉構成員）情報通信審議会の陸上無線通信委員会の方で、6GHz 帯での屋外利用での無線 LAN 周波数拡張の技術的条件検討が行われており、共用条件の検討では、STL 等の既存システムのスペックは現行の技術基準を使用することになると推察される。このため、新たなシステムについて、従来のシステムより耐性が弱くならないとの確認をしたかったものである。同等以上の耐性を確保するとの要求条件が前提ということで承知した。

（事務局）ご指摘の無線 LAN との共用についても、STL/TTL/TSL 高度化作業班の構成員として、電波産業会 無線 LAN システム開発部会副委員長 鷹取様に参加していただく予定であり、その論点についても作業班の中で議論を進める考えである。

(3) その他

事務局より、次回の委員会は、NHK 配信用設備作業班からの作業班報告を予定しており、
11 月 28 日(木)15:30 から開催する旨連絡があった。

(以上)